じょう　がく　つう　しん
城岳通信

第24号
令和２年10月21日（水）
発行者：校長　宮里 寿子

令和2年度 二学期 始業式
～「リスペクト」「有言実行」、そして「小さなことでも全力で」～

４日間という短い秋休みを終えて、10月20日（火）に二学期がスタートしました。一時間目は令和２年度の二学期始業式でしたが、お馴染みのZoomで行いました。各教室で、それも電子黒板で拡大して見ることができるZoomでの集会は、なかなか好評です。

校歌を各教室で歌った（マスク着用）後に、3年生と6年生から「二学期頑張りたいこと」の発表がありました。3年代表の２名が、「これまでも授業中に発表をしてきたけど、もっと頑張りたい（新城史龍さん）」「授業中、きちんと立腰して頑張りたい（中村莉子さん）」と、発表してくれました。また、6年代表が「夢のプロ野球選手に向けて、人より多く努力して打撃力を上げたい（與儀達登さん）」、「6年生は残り半年しか小学校に登校できないけど、楽しい思い出と伝説をいっぱい作りたい（勝連美結さん）」と発表しました。

以下、コロナ禍の状況に触れた、6年代表・石川陽菜さんの発表を掲載します。

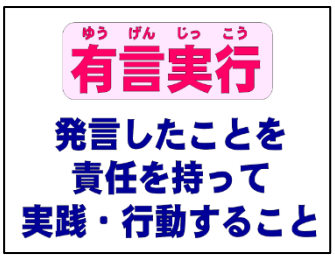
「二学期頑張りたいこと」

私が二学期に頑張りたいことは二つあります。一つ目は、先生の話をしっかり聞いて勉強を頑張ること、二つ目は、これからある行事を精一杯本気で頑張ることです。6年生は休校からのスタートでした。せっかく楽しみにしていた多くの行事も中止となり、とても残念で先が見えなく不安の連続でした。

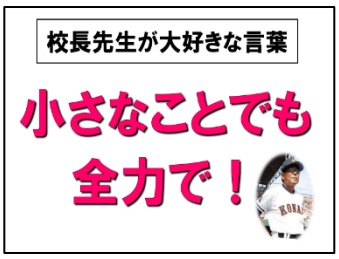
そんな中でも、「未来に羽ばたく、架け橋になれ」の動画作成やプチ修学旅行など、先生方の協力もあり楽しい思い出を作ることができました。感謝しています。二学期にはミニミニ運動会も計画されていて、今から楽しみにしています。**最初は「コロナ」で何もできないと思っていたけど、みんなで協力していけば、何かできることがあると分かりました。**小学校生活はあと100日ちょっとです。いつ休校になるかもしれません。だから、一日一日を大切にして、残りの小学校生活で最高の思い出を作っていきたいです。大好きな仲間と一緒にいられる、この瞬間、瞬間を思い切り楽しみます。

発表を聞きながら、こみ上げてくるものがありました。コロナ感染がまだまだ落ち着かない状況ではありますが、陽菜さんの発表にあるように、何かできることを考えていきます。









校長講話では、私が赴任してからの二学期始業式について、振り返りました。一年目は子ども同士や地域でのトラブルが多かったので、「Respect（リスペクト）：周りの人を大切にする気持ちを話し方や行動で表現する」の言葉を伝え、周りの人をRespect（リスペクト）すると、自然に笑顔になるよというお話。二年目は本校卒業生の上間永遠さんがプロ野球選手になるという夢を実現、「有言実行：発言したことを責任持って実践・行動すること」のお話。そして、昨年の創立70周年記念ソング「今までもこれからも」の歌詞の中に、「笑顔」「リスペクト」の言葉が入り、音楽発表会を「感動的で記憶に残るもの」という目標が達成でき、有言実行できたとお話ししました。そこで今年、城岳小の皆さんに伝えたい言葉は、「小さなことでも全力で！」。コロナ禍で大きな行事はできないけれど、毎日の授業で「あきらめずに取り組む」こと、いろんな活動を「やり抜くこと」を頑張ってほしいと話しました。「Respect」「笑顔」「有言実行」そして、「小さなことでも全力で」、この二学期を頑張ってほしいと思います。